

ユース育成担当者会議

技術委員会 ユース育成部会
2017/09/03

リーグ文化醸成へ向けた取り組み

技術委員会 ユース育成部会

2017/09/03

- 1 リーグ化の意義**
- 2 既存大会とリーグの位置付け**
- 3 運営と人的配置・設置手順**
- 4 実施運営例**
- 5 共通レギュレーション**

■ リーグ方式とトーナメント方式

方式	特徴
リーグ	一定の試合数が確保される 同水準の競技レベルで試合が出来る
トーナメント	一発勝負の緊張感のある試合 優勝チームは無敗の完全勝利

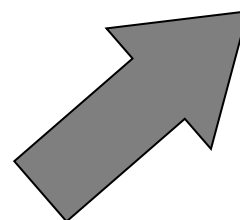
■ 現行トーナメントの特徴

47都道府県代表から1番を決定するトーナメント方式

全国大会



47都道府県の代表



47都道府県代表

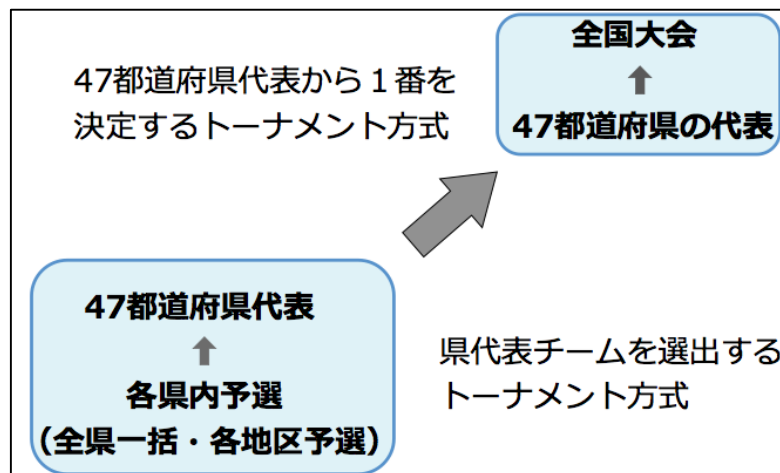


各県内予選

(全県一括・各地区予選)

県代表チームを選出する
トーナメント方式

■ 現行トーナメントの特徴



↓
試合を経験できるチームが限られていく
試合を経験出来る選手が限られていく

↓
育成年代へのデメリット

■よりよい育成への変革

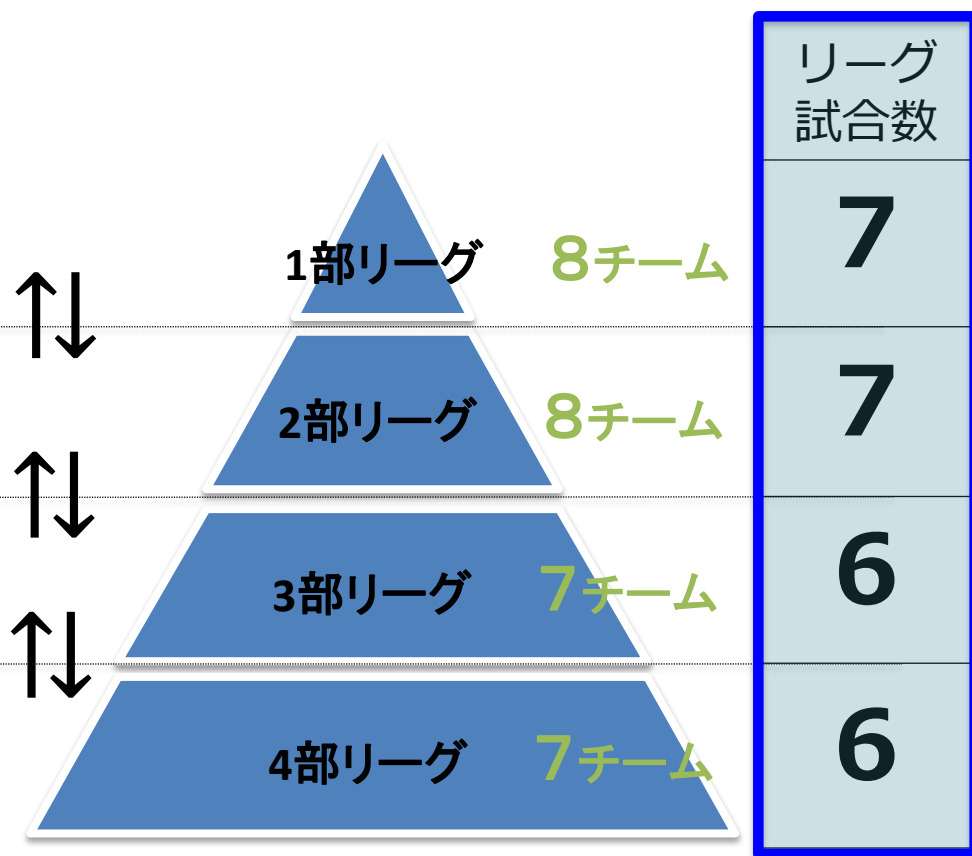
現行トーナメントの

育成年代へのデメリットの改善



- ① 全ての大会がトーナメントである必要はない
- ② リーグ化により選手として経験の場の増加
補欠文化からの脱却→**普及・育成**
- ③ リーグ化によりチームとして拮抗した試合数の増加
適正競技レベルでの経験値増加→**育成**

【普及】一定試合数確保によるプレー機会の創出

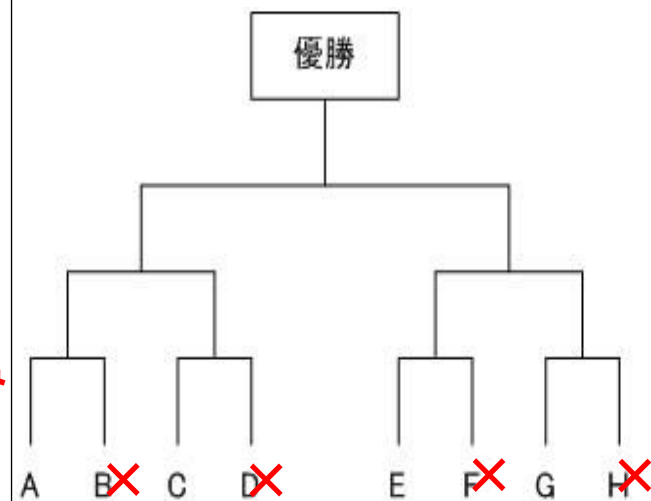


トーナメント
試合数

**最大
3試合**

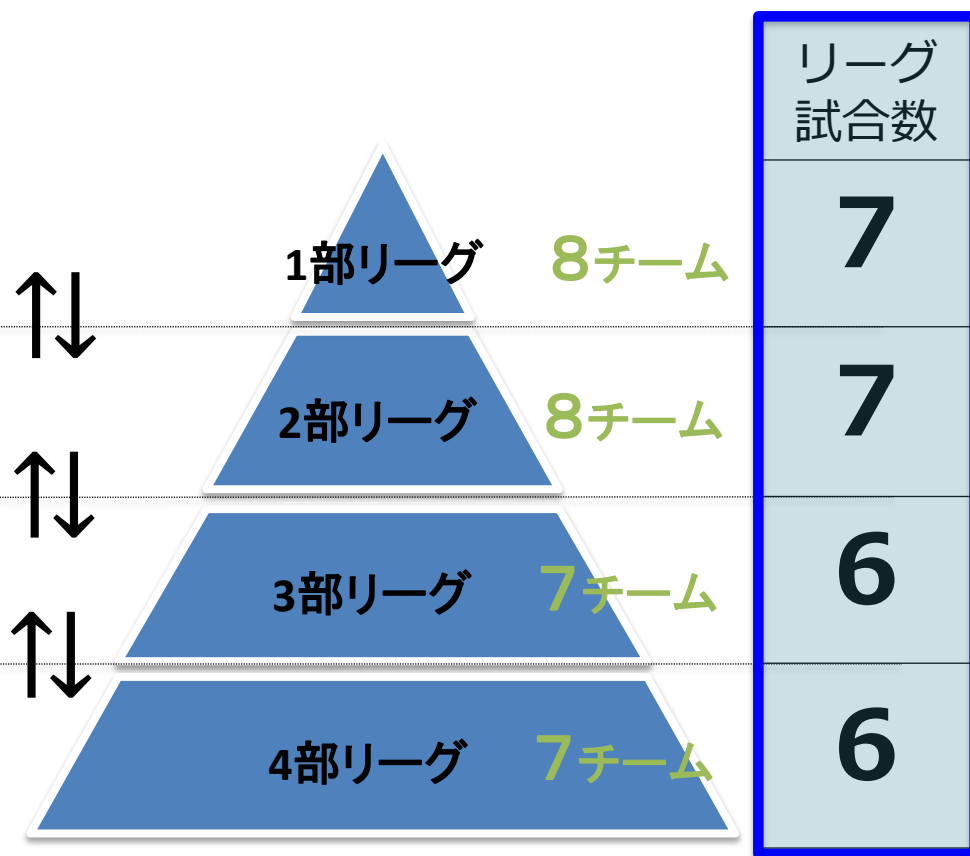
※参加チーム

半数 1 試合のみ



参加チームに対して一定試合数が確保される

【育成】 実力の拮抗した試合の増加



適正競技レベルでの
試合が増加することで
拮抗した試合のなかで
経験値増加が見込まれる

【試合数の変化イメージ】

■ 年間試合数(トーナメントのみ)

(参考大会:2015バスケ)
年間4大会設置

全大会優勝した場合	20 試合
// ベスト8の場合	12 試合
// 初戦敗退の場合	3 試合

県内登録チーム数 171

■ 年間試合数(リーグ・トーナメント並行実施)

(参考大会:2015サッカー)
年間4大会設置

全大会優勝した場合	36 試合
// ベスト8の場合	31 試合
// 初戦敗退の場合	22 試合

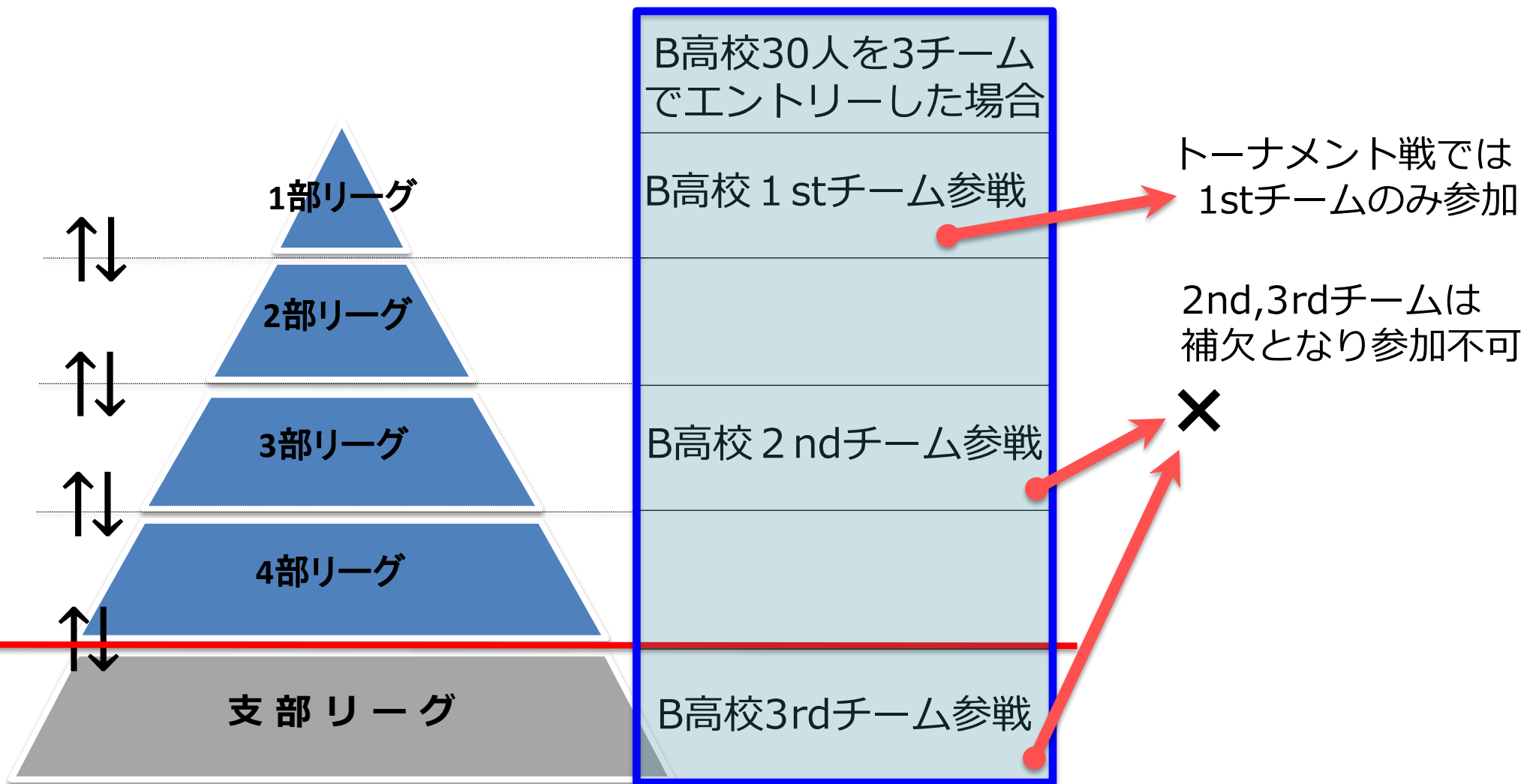
+
リーグ大会(9ヶ月)設置

県内登録チーム数 171

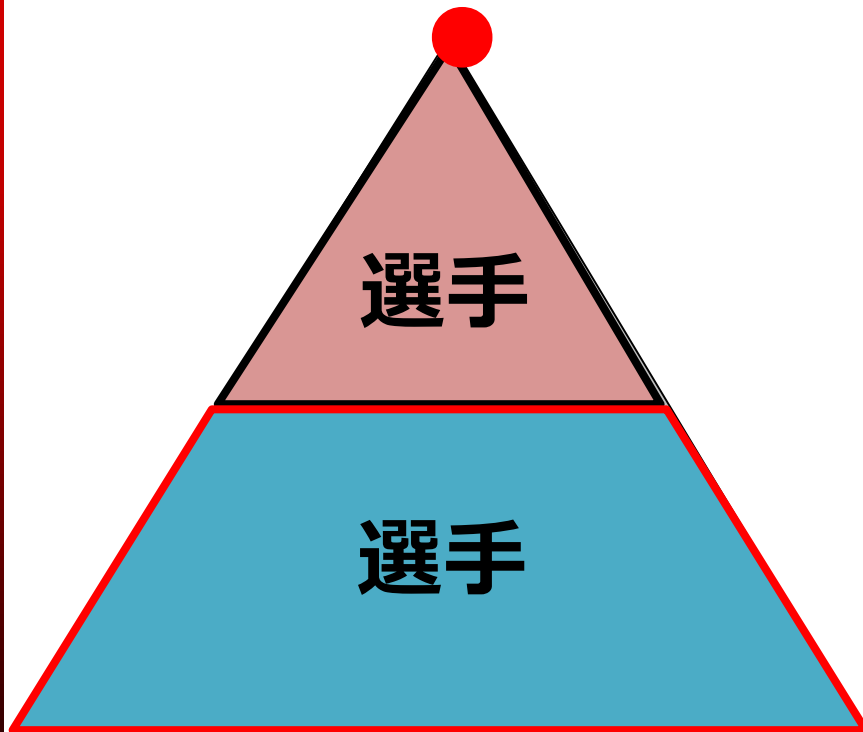
リーグ試合数が確保される試合のある日常となる

【普及】 補欠をなくすプレー機会の創出

【複数チームエントリーのイメージ】



【育成】選手ピラミッドを効率化する



選手(競技者)ピラミッド

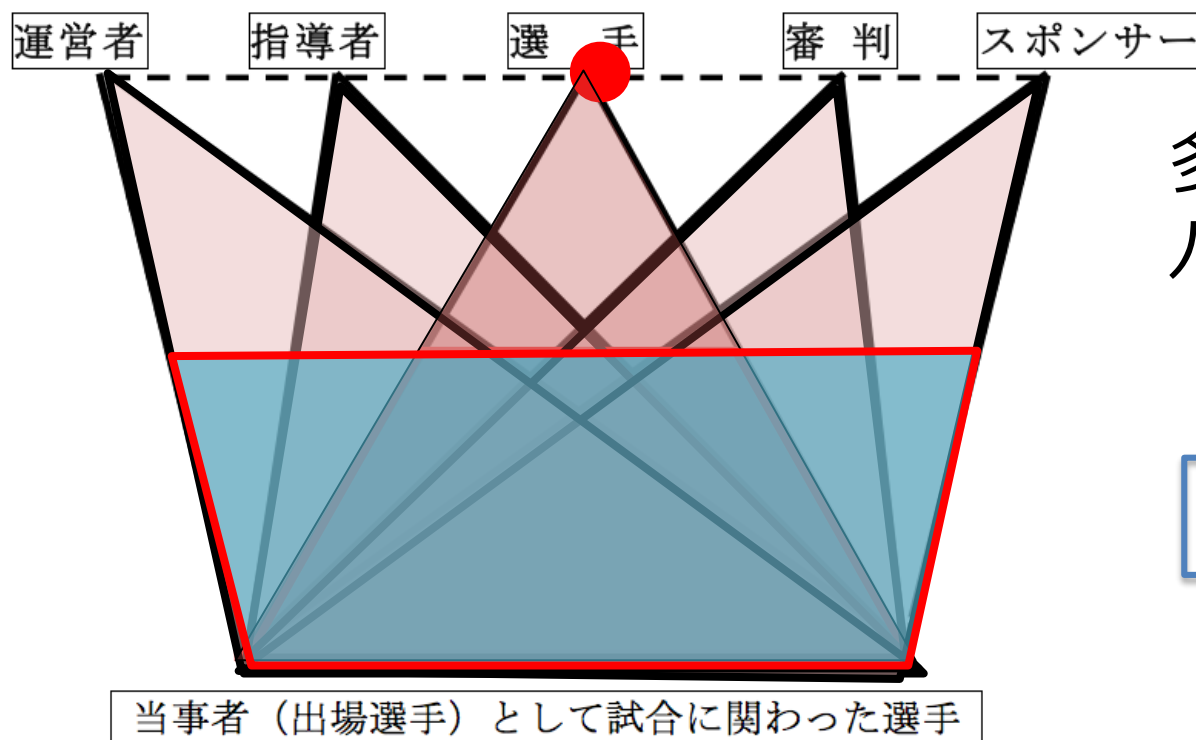
トーナメント文化

ピラミッドの上層のみ高める
下層は補欠となる

リーグ文化

ピラミッド下層に競争機会を作る
下層に出場選手として機会を作る

【普及】 バスケファミリーピラミッドの数を増やす



出場選手としての
競技との関わりの増加



多様な競技との関わり方
バスケファミリーの増加



持続可能な競技発展へ

■ リーグ化に伴う課題

リーグ化により以下の様な課題が想定される。

① 会場確保

試合数の増加による会場の確保

② 審判確保

試合数の増加による審判の確保

③ 日程確保

既存トーナメントと並行するリーグ日程の確保と調整

■ リーグ戦のスタートへ向けて

適切な**普及**は、

**バスケットボールファミリーを増やし、
未来の日本バスケットをより良く作り替えていきます**

適切な**育成**は、

未来の強い日本代表作りへ繋がっていきます

リーグ化の実現には、各カテゴリーや都道府県それぞれの異なる実態から、47通りの課題があると考えられます。

課題と向き合いながら、**育成と普及の未来を作っていく作業**は私たちがバスケットボールファミリーの絆を高めるチャンスとも考えられます。

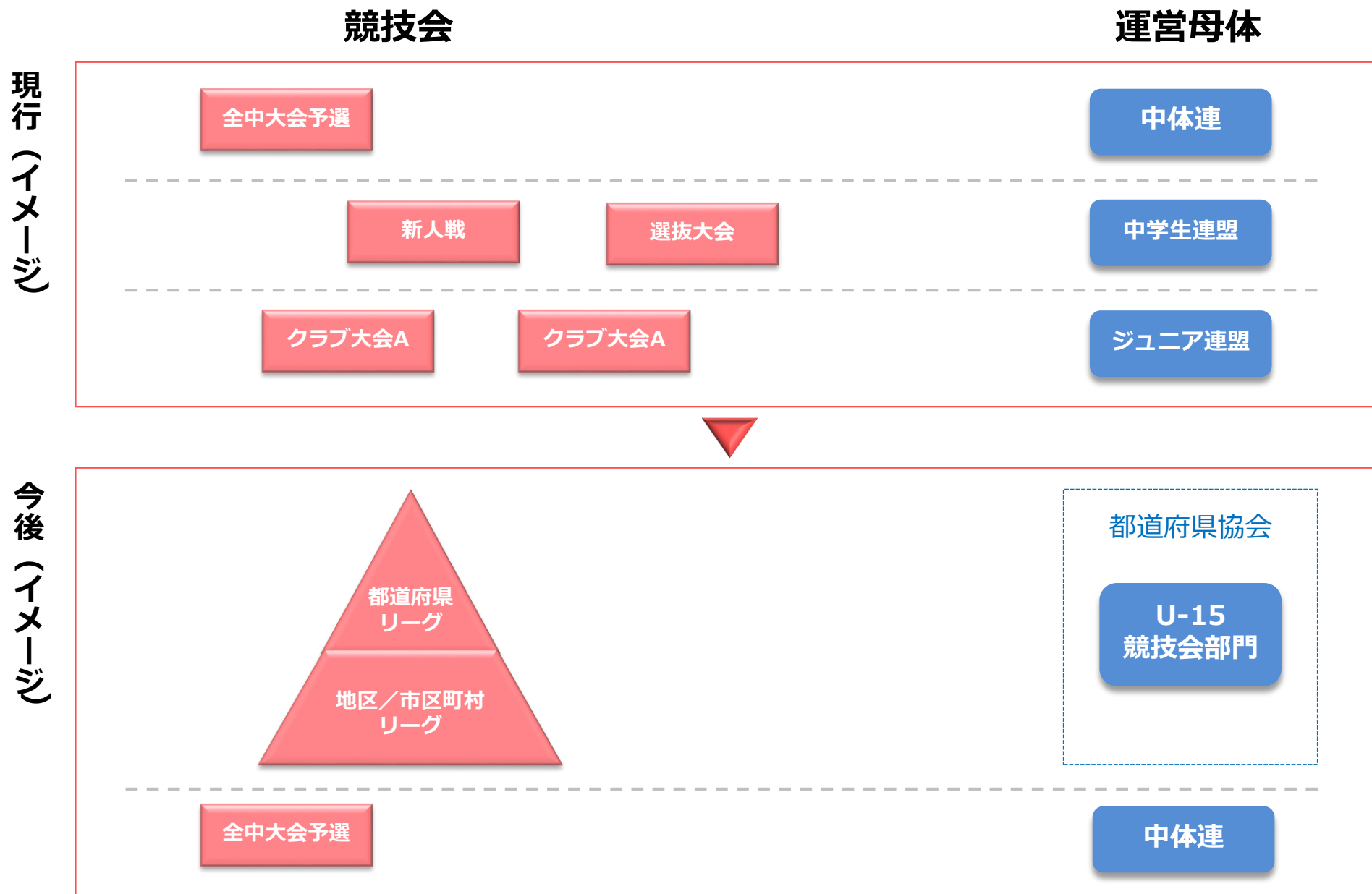
- 1 リーグ化の意義
- 2 既存大会とリーグの位置付け**
- 3 運営と人的配置・設置手順
- 4 実施運営例
- 5 共通レギュレーション

■ 既存の大会とリーグの位置付け

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	リーグの位置付け
週	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	
U18													既存トーナメントと独立した 日常に試合のある リーグを設置 将来ブロックリーグを設置予定
					インターハイ			国体			ウィンターカップ		
U15													大会再編に合わせたJWC予選とつながる 日常に試合のある リーグを設置 ジュニアオールスター
					ブロック	全中				ジュニアウィンターカップ			
U12													既存トーナメントと独立した 日常に試合のある リーグを設置 全国ミニ

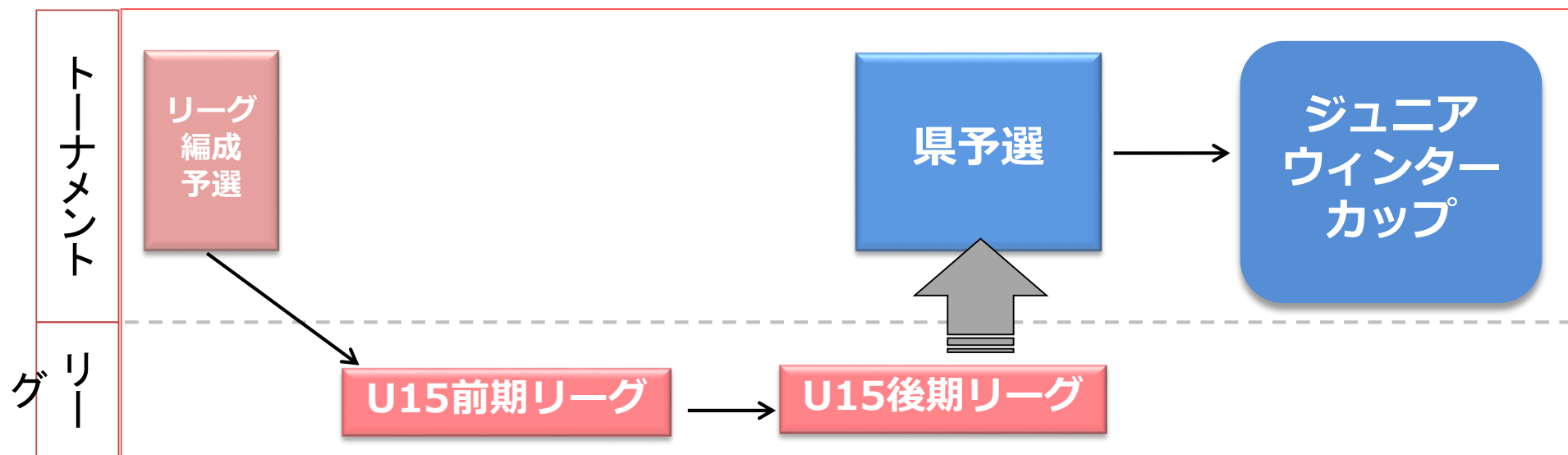
2 既存大会とリーグの位置付け

■ U15 各種競技会と運営母体



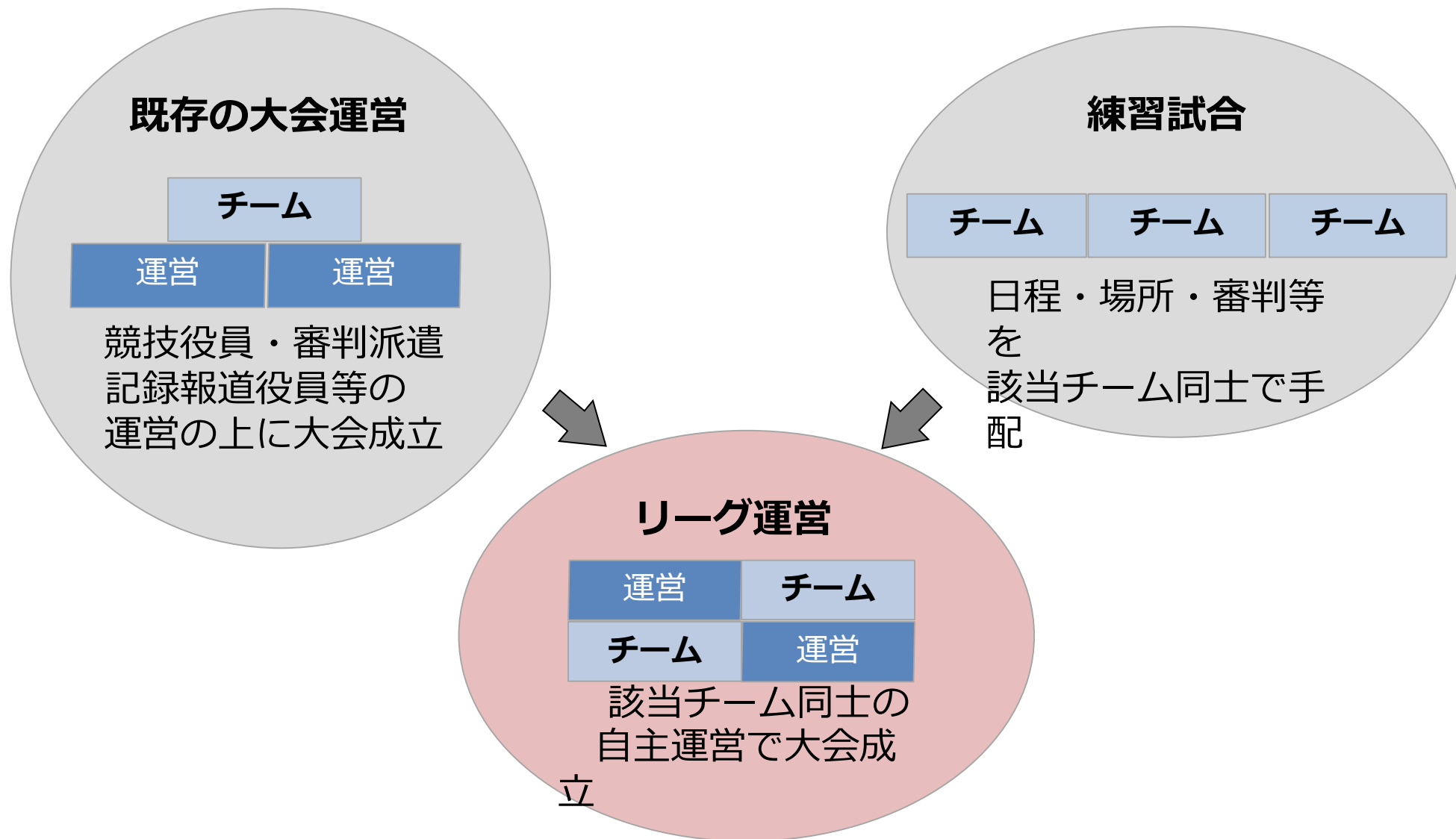
■ U15リーグとの関連

- 県予選はトーナメント形式で実施するが、予選の参加資格をU15リーグへの参戦を条件とする
- U15後期リーグ上位グループで県予選トーナメントを組む

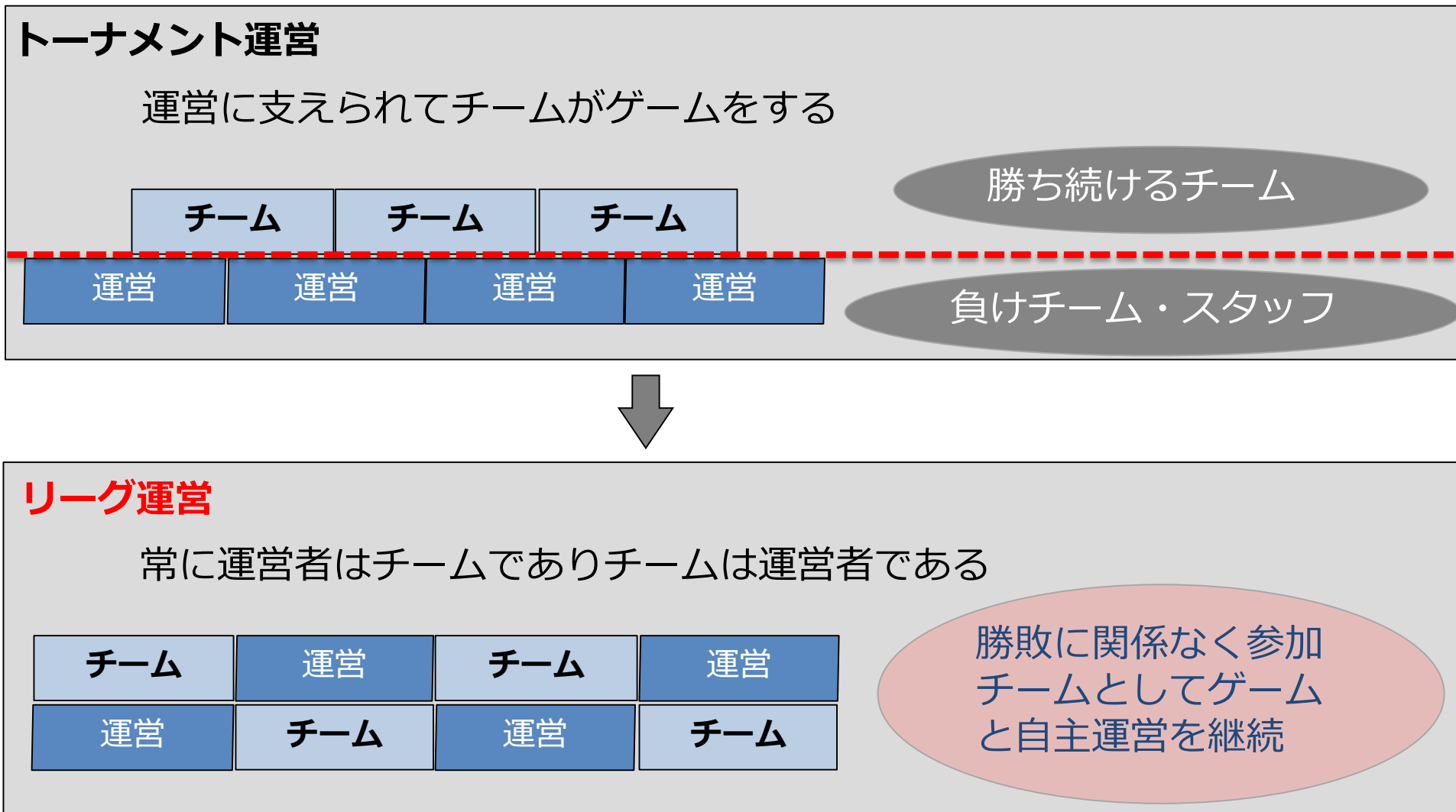


- 1 リーグ化の意義
- 2 既存大会とリーグの位置付け
- 3 運営と人的配置・設置手順**
- 4 実施運営例
- 5 共通レギュレーション

■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方



■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方



■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

「リーグ戦を日常にする文化醸成」実現へのリーグ運営

- ① 運営とチームを分ける考え方から、参加者同士が相互に運営をするという考え方へシフトする
- ② 運営を役員に任せるといった文化の脱却がリーグ文化醸成、バスケファミリーを増やす種まきになる

リーグ運営

常に運営者はチームでありチームは運営者である

チーム	運営	チーム	運営
運営	チーム	運営	チーム

勝敗に関係なく参加チームとしてゲームと自主運営を継続

■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

「リーグ戦を日常にする文化醸成」 実現へのリーグ運営

リーグ運営

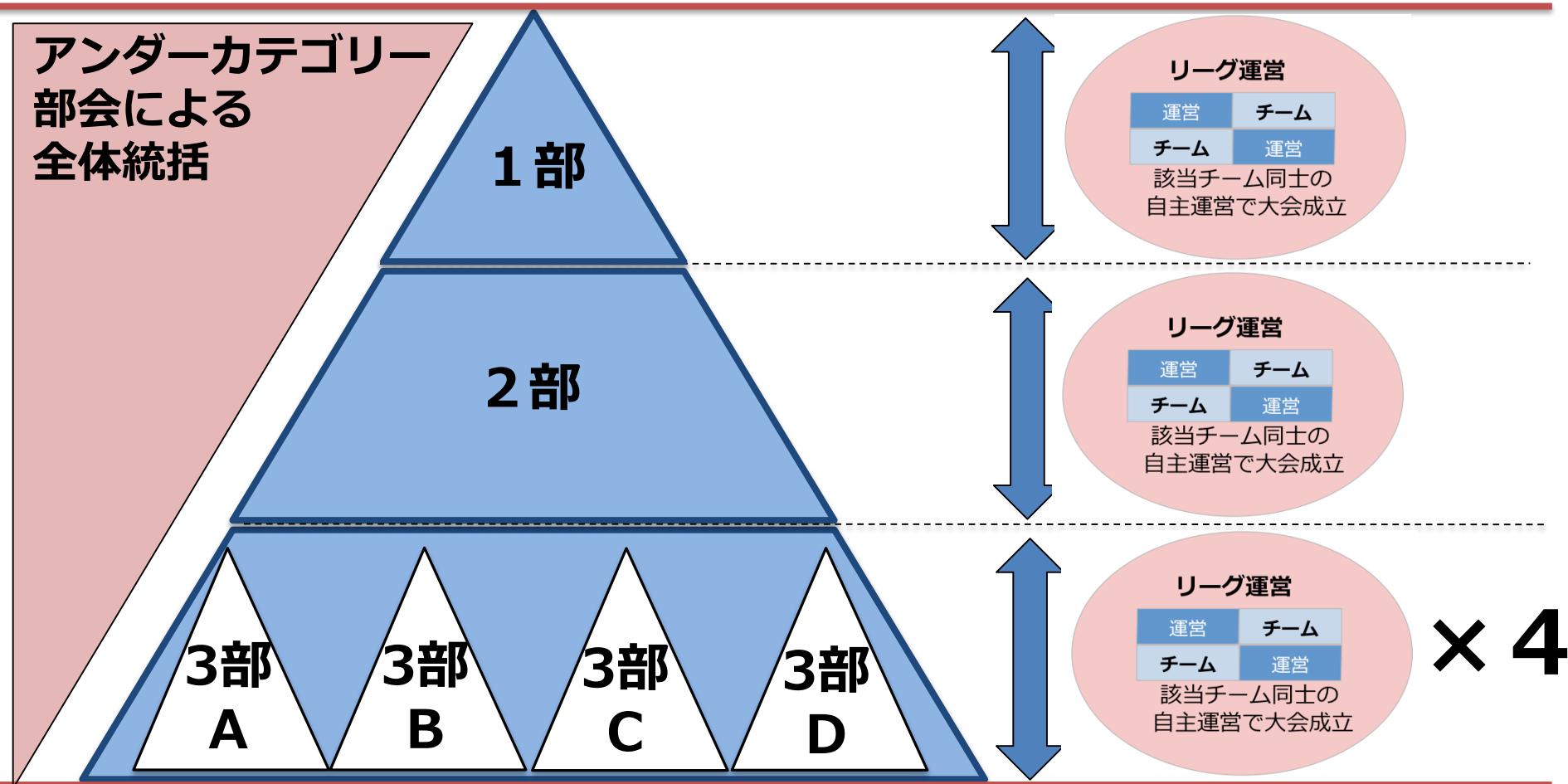
上記、当日運営以外に必要な
常に運営者はチームでありチームは運営者である
事前準備・中期計画・年間計画を

各アンダー運営カテゴリー一部会で準備する

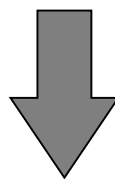
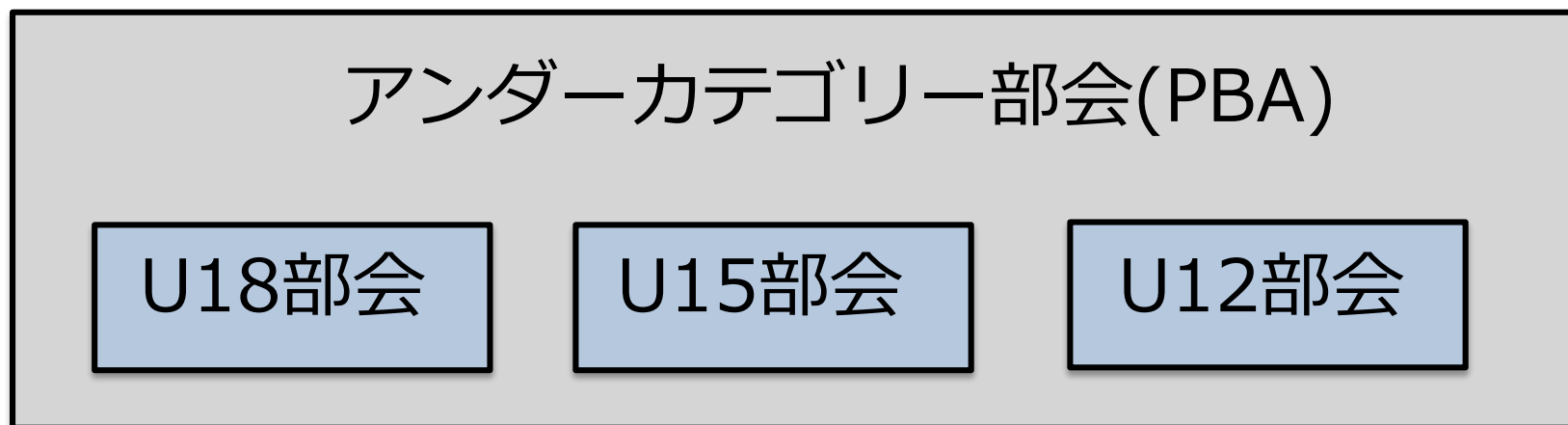
運営	チーム	運営	チーム
----	-----	----	-----

勝敗に関係なく参加
チームとしてゲーム
と自主運営を継続

■ 都道府県リーグ運営イメージ

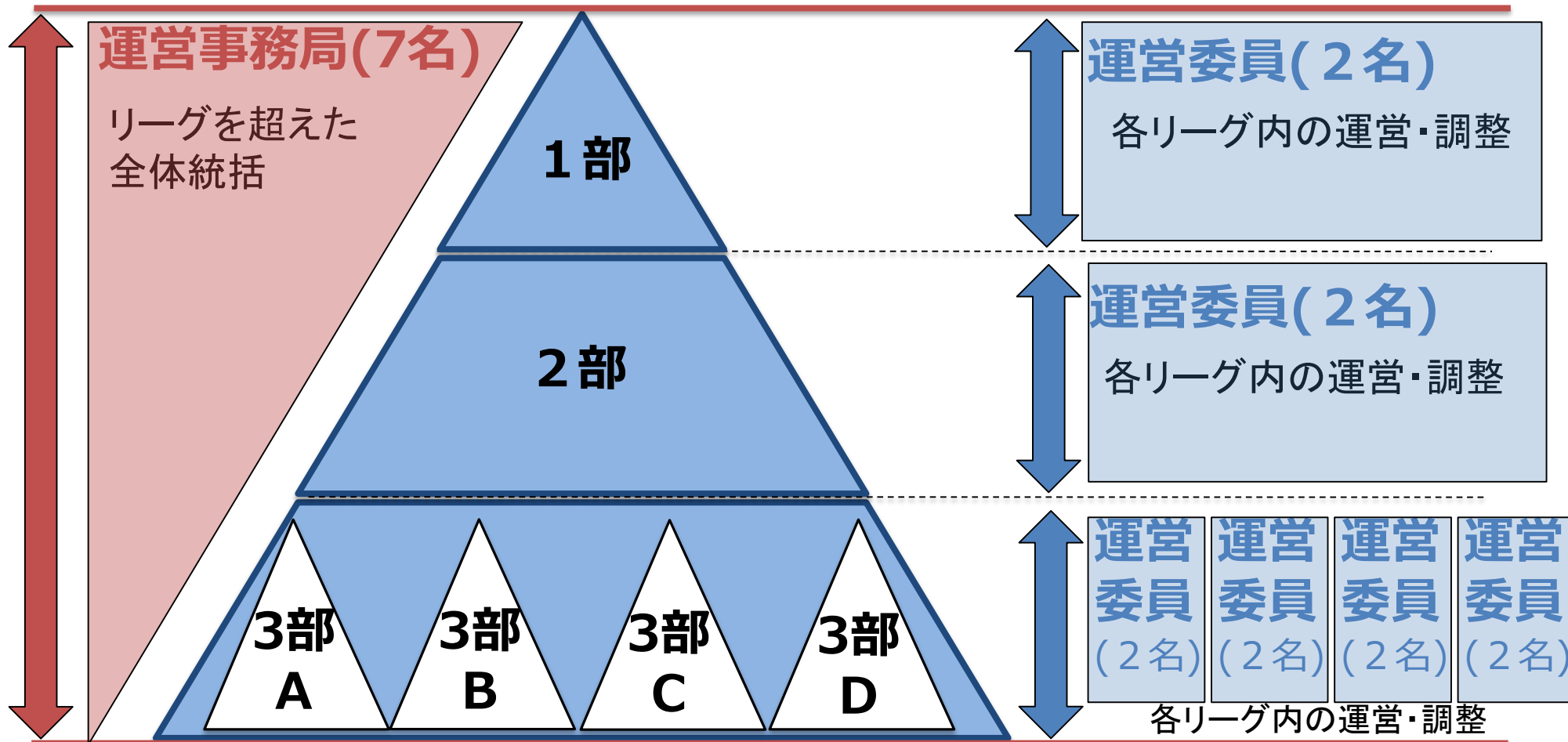


■ 都道府県リーグのスタートへ向けた人的配置



各カテゴリーで**リーグ運営事務局**の設置

■ 人的配置イメージ



運営事務局 (7~8名)



県内リーグ全体の運営統括

運営委員 (2名×リーグ数)

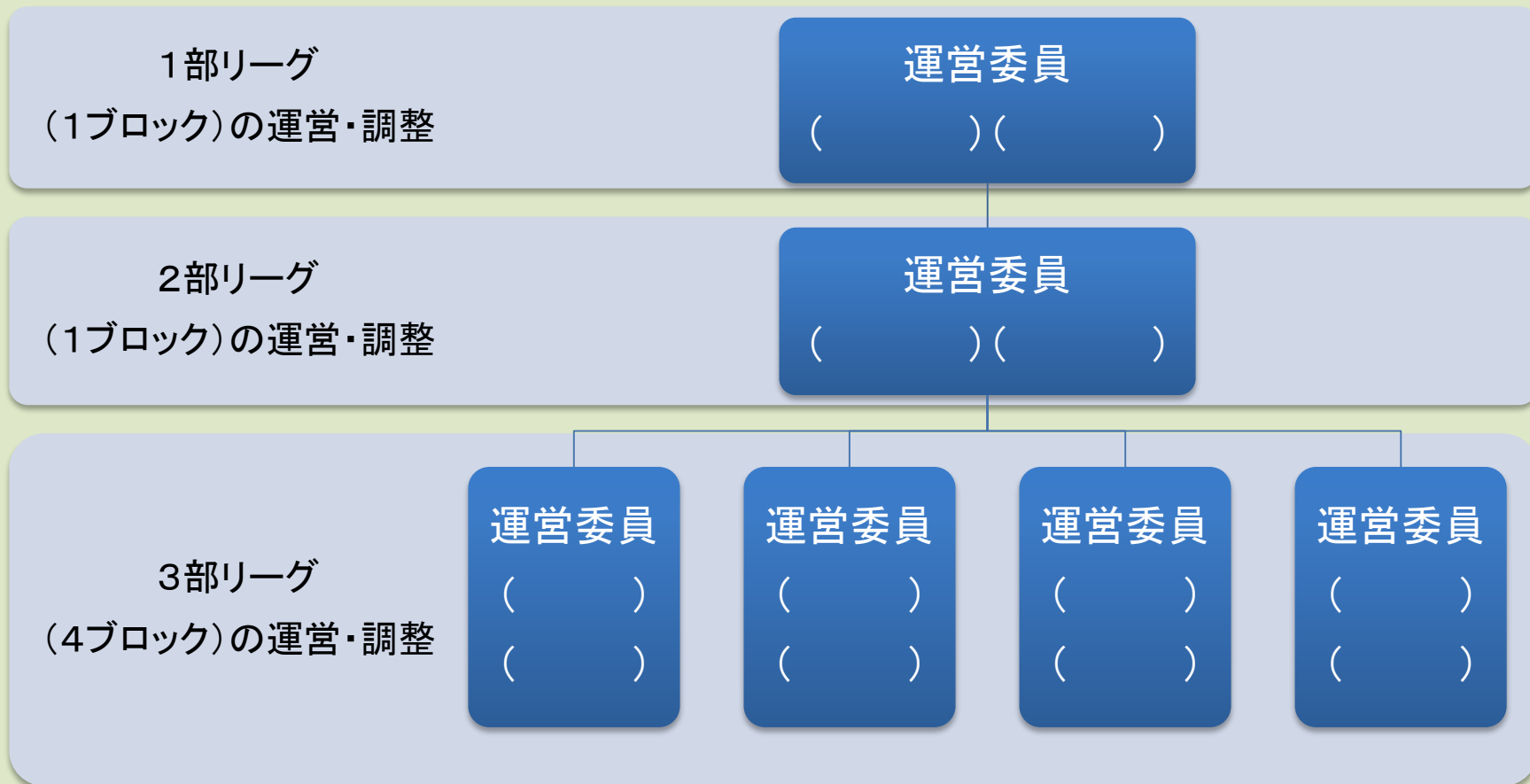


各リーグ内の運営・調整

■ 県内リーグ実施の人的配置の例

運営事務局 ※運営委員とは掛け持ちしない

委員長(部会長兼務) 副委員長() クラブ()
競技() 審判() 財務() 総務() 広報()



■ リーグスタートに向けた設置手順

手順 1

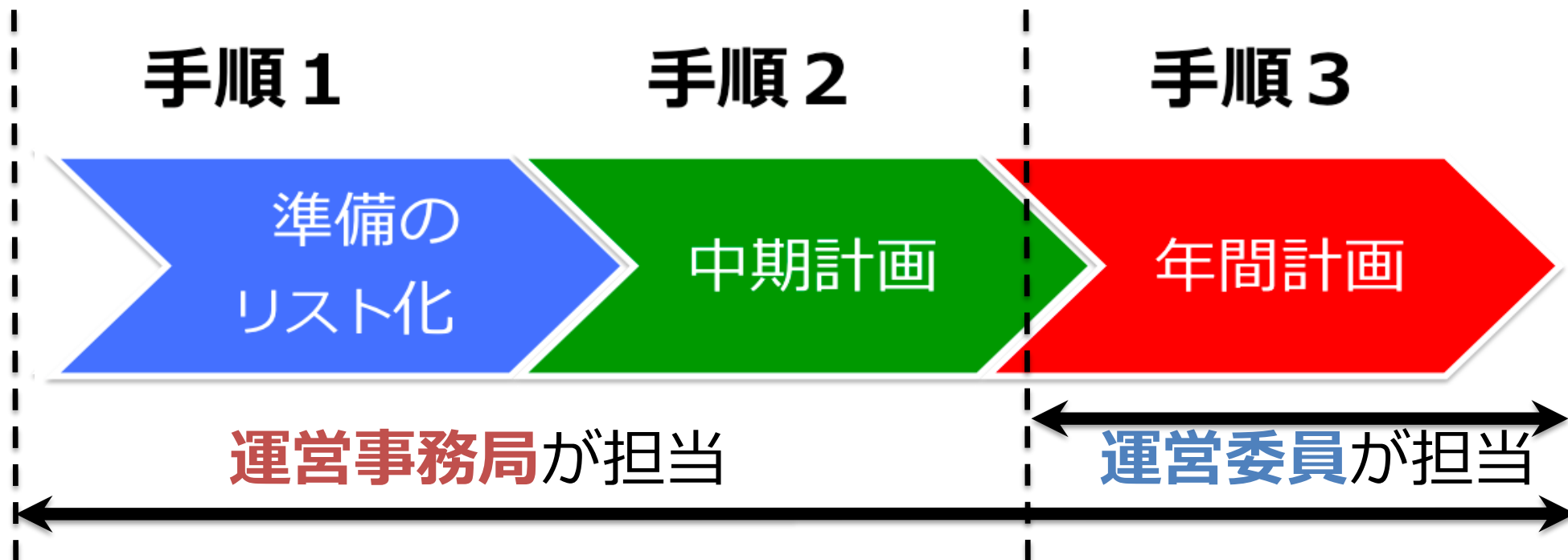
手順 2

手順 3



**リーグ運営事務局は
手順 1～3 でリーグ準備を進めます**

■ 人的配置と設置手順



運営事務局 (7~8名)



県内リーグの運営統括

運営委員 (2名×リーグ数)



各リーグの実際の運営・調整

※運営委員は必ず該当リーグ内から選出

■ 手順 1 準備のリスト化

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

詳細作成ではなく全体把握のための項目確認

都道府県の実態に合わせ、以下 3 項目のリスト化

1 リーグ開幕前(準備段階)の必要項目

(スケジュール・グループ分け等)

2 リーグ期間中に必要な作業項目

(試合結果・試合調整の連絡方法等)

3 リーグ期間中のエラー発生時の解決手順

(問題発生時の手順・決定の流れ等)

■ 手順 2 中期計画

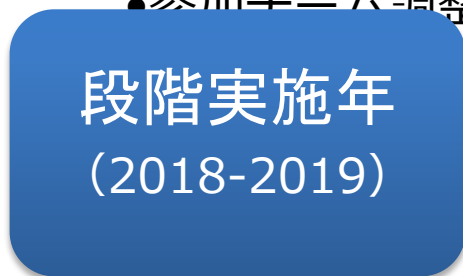


準備年から完成年までの中期計画の共通理

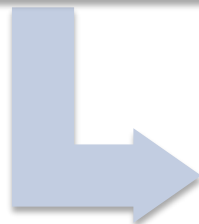
解



- 人的配置
- 会場確保、審判調整
- 日程案、要項作成
- 参加チーム調整
- 初年度リーグの評価



- オペレーション見直し
- 日程の見直し・調整
- 次年度参加チームの調整
- 2年目リーグの評価



- オペレーション見直し
- 日程の見直し・調整
- 次年度参加チーム調整

■ 手順2 中期計画 (2017~)



【U15カテゴリー 2018年5月開幕の準備例】

運営事務局

運営委員

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
リーグ準備		<ul style="list-style-type: none"> → リーグ構造の共通理解 → 人的配置 <ul style="list-style-type: none"> → 会場確保・審判調整 → 日程案・要項作成 → 参加チーム調整 						この期間にリーグ編成を実施します	前期リーグ期間 この期間に前期リーグの日程を入れ込みます			
					<ul style="list-style-type: none"> → 日程・会場調整 → 日程提示 							
既存トーナメント							JA					全中

■ 手順2 中期計画 (2018~)



【U15カテゴリー 2018年-2019年準備例】

運営事務局

運営委員

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
リーグ準備	この期間にリーグ編成を実施します		後期リーグ期間 この期間に後期リーグの日程を入れ込みます						この期間にリーグ編成を実施します		前期リーグ期間 この期間に前期リーグの日程を入れ込みます		
	→ 前期リーグの評価 → 日程の見直し調整				→ 後期リーグの評価 → 日程の見直し調整								
	→ 日程・会場調整				→ 日程・会場調整								
既存トーナメント				プレJWC			JA					全中	

■手順2 中期計画 (2019~)



【U15カテゴリー 2019年-2020年準備例】

運営事務局

運営委員

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8				
リーグ準備	この期間にリーグ編成を実施します		後期リーグ期間 この期間に後期リーグの日程を入れ込みます						この期間にリーグ編成を実施します		前期リーグ期間 この期間に前期リーグの日程を入れ込みます					
	→ 前期リーグの評価 → 日程の見直し調整								→ 後期リーグの評価 → 日程の見直し調整							
	→ 日程・会場調整								→ 日程・会場調整							
既存トーナメント	国体		JWC										全中			

■ 手順3 年間計画



詳細な年間計画

		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
週		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
リーグ																																																	
既存 トーナ メント	全 国 地																*				*																												
	都 府 県												*								*								▲																				
DC																																																	

既存のトーナメント日程を考慮して
リーグ日程を入れこむ作業



都道府県の実態や学校スケジュールを考慮した
詳細年間計画の作成作業

- ▲ 新人大会
- * 全中
- ★ ジュニアオールスター

※各リーグピラミッドごとに運営委員が作成

■ 手順3 年間計画

詳細な年間計画 (平成30年4-7月)



日	4					5					6					7								
	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全
1	日						火						金						日	L				
2	月						水						土						月					
3	火						木						日	L					火					
4	水						金						月						水					
5	木						土						火						木					
6	金						日	L					水						金					
7	土						月						木						土					
8	日						火						金						日	L				
9	月						水						土						月					
10	火						木						日	L					火					
11	水						金						月						水					
12	木						土						火						木					
13	金						日	L					水						金					
14	土						月						木						土					
15	日						火						金						日	L				
16	月						水						土						月					
17	火						木						日	L					火					
18	水						金						月						水					
19	木						土						火						木					
20	金						日	L					水						金					
21	土						月						木						土					
22	日						火						金						日	L			*	
23	月						水						土		DC				月				*	
24	火						木						日						火				*	
25	水						金						月						水				*	
26	木						土		DC				火		*				木					
27	金						日						水		*				金					
28	土		DC				月						木		*				土		DC			
29	日						火						金		*				日					
30	月						水						土						月					
31							木												火					

L	リーグ	▲ 新人大会
地	地区大会	* 全中
県	県大会	★ ジュニアオールスター
ブ	ブロック大会	
全	全国大会	
DC	育成センター	

- 学総との日程調整
- 学校行事との日程調整
- 3年生引退とクラブ
チーム移籍のルール整備

■ 手順3 年間計画

詳細な年間計画 (平成30年8-11月)



日	8					9					10					11				
	曜	L	地	県	ブ全	曜	L	地	県	ブ全	曜	L	地	県	ブ全	曜	L	地	県	ブ全
1	水					土					月					木				
2	木					日	L				火					金				
3	金					月					水					土				
4	土					火					木					日	L			
5	日	L				水					金					月				
6	月					木					土		▲			火				
7	火				*	金					日		▲			水				
8	水				*	土					月		▲			木				
9	木				*	日	L				火		▲			金				
10	金					月					水					土				
11	土					火					木					日			▲	
12	日	L				水					金					月			▲	
13	月					木					土					火			▲	
14	火					金					日	L				水			▲	
15	水					土					月					木				
16	木					日	L				火					金				
17	金					月					水					土				
18	土					火					木					日	L			
19	日	L				水					金					月				
20	月				*	木					土					火				
21	火				*	金					日	L				水				
22	水				*	土		DC			月					木				
23	木				*	日					火					金				
24	金					月					水					土			DC	
25	土		DC			火					木					日				
26	日					水					金					月				
27	月					木					土		DC			火				
28	火					金					日					水				
29	水					土					月					木				
30	木					日	L				火					金				
31	金										水									

L	リーグ	▲	新人大会
地	地区大会	*	全中
県	県大会	★	ジュニアオールスター
ブ	ブロック大会		
全	全国大会		
DC	育成センター		

- ・ 夏季休業中の日程有効活用
- ・ 新人大会等との日程調整

■ 手順3 年間計画

詳細な年間計画 (平成30年12-3月)



日	12					1					2					3								
	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全
1	土						火						金						金					
2	日	L					水						土						土					
3	月						木						日	L					日					
4	火						金						月						月					
5	水						土						火						火					
6	木						日	L					水						水					
7	金						月						木						木					
8	土						火						金						金					
9	日	L					水						土						土					
10	月						木						日	L					日					
11	火						金						月						月					
12	水						土						火						火					
13	木						日	L					水						水					
14	金						月						木						木					
15	土						火						金						金					
16	日	L					水						土						土					
17	月						木						日	L					日					
18	火						金						月						月					
19	水						土						火						火					
20	木						日	L					水						水					
21	金						月						木						木					
22	土					DC	火						金						金					
23	日						水						土			DC			土				DC	
24	月						木						日						日					
25	火						金						月						月					
26	水						土			DC			火						火					
27	木						日						水						水					
28	金						月						木						木					★
29	土						火												金					★
30	日	L					水												土					★
31	月						木												日					

L	リーグ
地	地区大会
県	県大会
ブ	ブロック大会
全	全国大会
DC	育成センター

▲ 新人大会

* 全中

★ ジュニアオールスター

- ・ 冬季休業中の日程有効活用
- ・ 学校行事との日程調整

- 1 リーグ化の意義
- 2 既存大会とリーグの位置付け
- 3 運営と人的配置・設置手順
- 4 実施運営例**
- 5 共通レギュレーション

■ チーム数・試合数

チーム数	1周/1チーム	総試合数	2周/1チーム	総試合数
8チーム	7試合	28試合	14試合	56試合
7チーム	6試合	21試合	12試合	42試合
6チーム	5試合	15試合	10試合	30試合
5チーム	4試合	10試合	8試合	20試合

グループリーグのチーム数によって上記の総試合数の会場確保、日程確保、審判確保が必要となる。

■ 1日の運営例(8チーム 1日1試合)

16チーム(8チーム×2リーグ)が1会場2面使用で各チーム1日1試合の運営例

	時間	Xコート	Yコート
第一試合	9:00	A-B	a-b
第二試合	10:30	C-D	c-d
第三試合	12:00	E-F	e-f
第四試合	13:30	G-H	g-h

左記の運営日程を7日間確保すると下の①、②の2グループのリーグを1周(28試合)消化可能。

①リーグX

	A	B	C	D	E	F	G	H
A								
B								
C								
D								
E								
F								
G								
H								

②リーグY

	a	b	c	d	e	f	g	h
a								
b								
c								
d								
e								
f								
g								
h								

体育館確保や他競技との共有利用に対応するためXコート1面の使用や第一試合の午後スタートなどの運営も可能

■ 1日の運営例(6チーム1日2試合)

6チーム(6チーム×1リーグ)が1会場1面使用で各チーム1日2試合の運営例

	時間	Xコート
第一試合	9:00	A-B
第二試合	10:30	D-E
第三試合	12:00	B-C
第四試合	13:30	E-F
第五試合	15:00	C-A
第六試合	16:30	F-D

左記の運営日程を2.5日間確保すると下の6チームリーグを1周(15試合)消化可能。2周(30試合)の消化に5日間の確保が必要

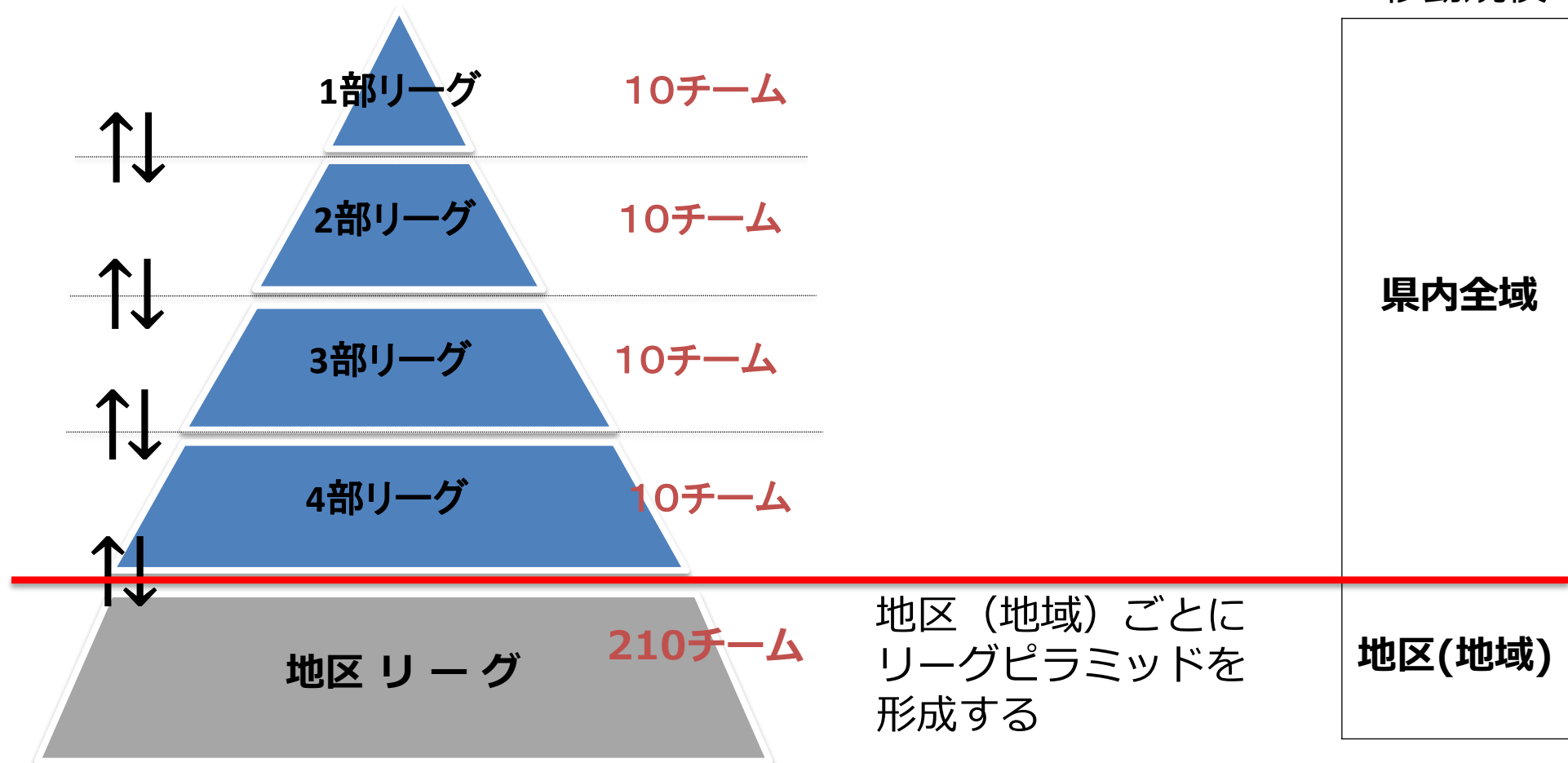
①リーグx

	A	B	C	D	E	F
A						
B						
C						
D						
E						
F						

例) U18男女、U15男女、U12男女の6チーム総当たりを回すために6会場(6面分)×5日間

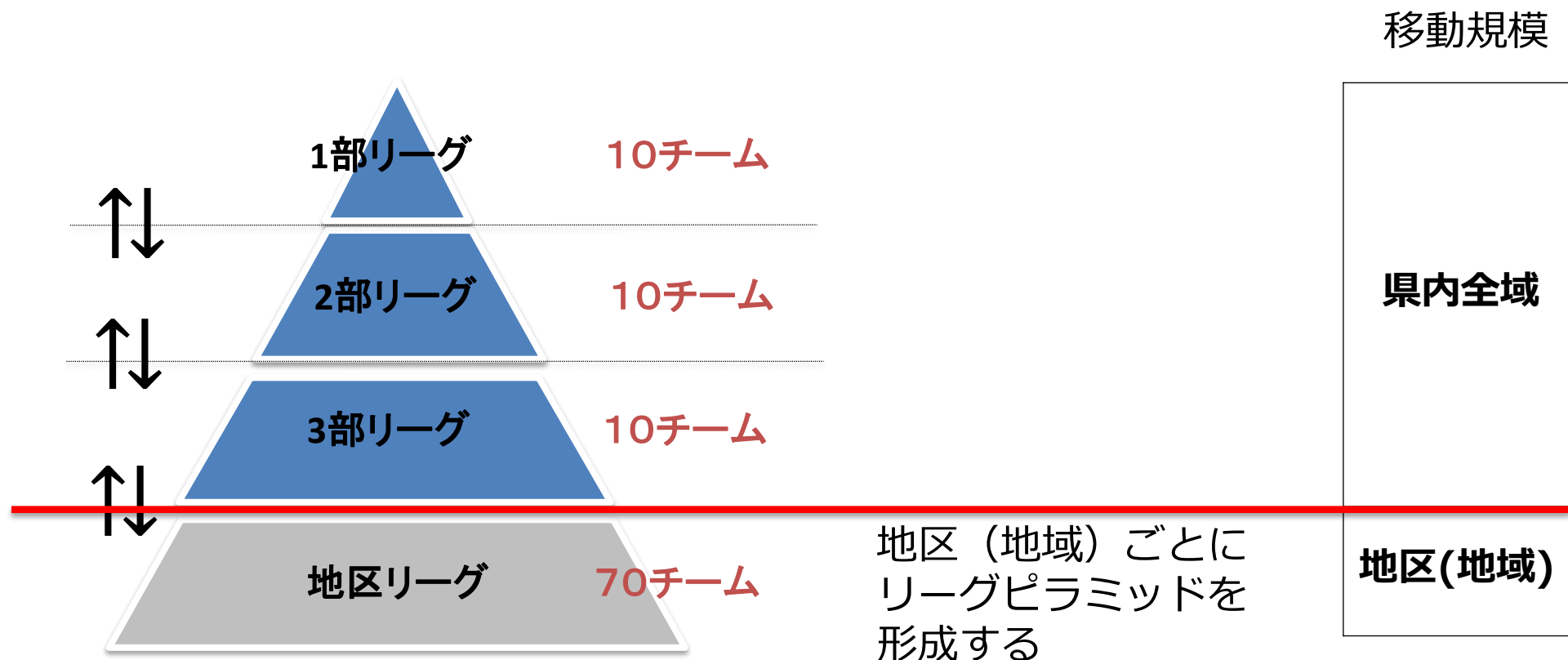
■ リーグ構造イメージ(登録チーム数250以上)

4部+地区



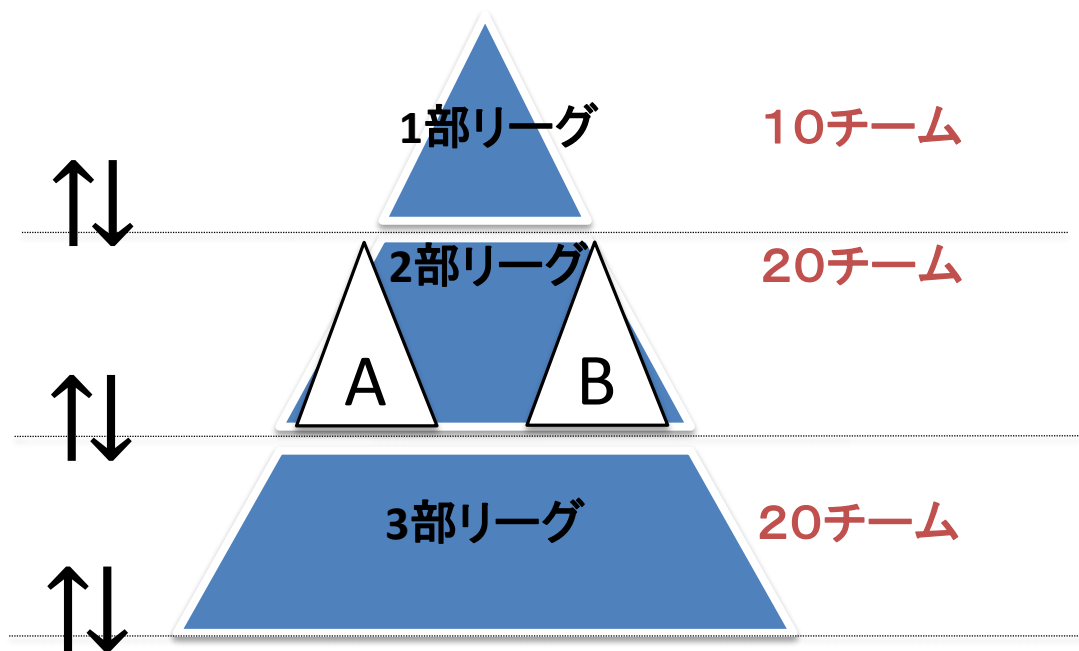
■ リーグ構造イメージ(登録チーム数100程度)

3部+地区



■ リーグ構造イメージ(登録チーム数50程度)

3部 (2部リーグ並列2ブロック)

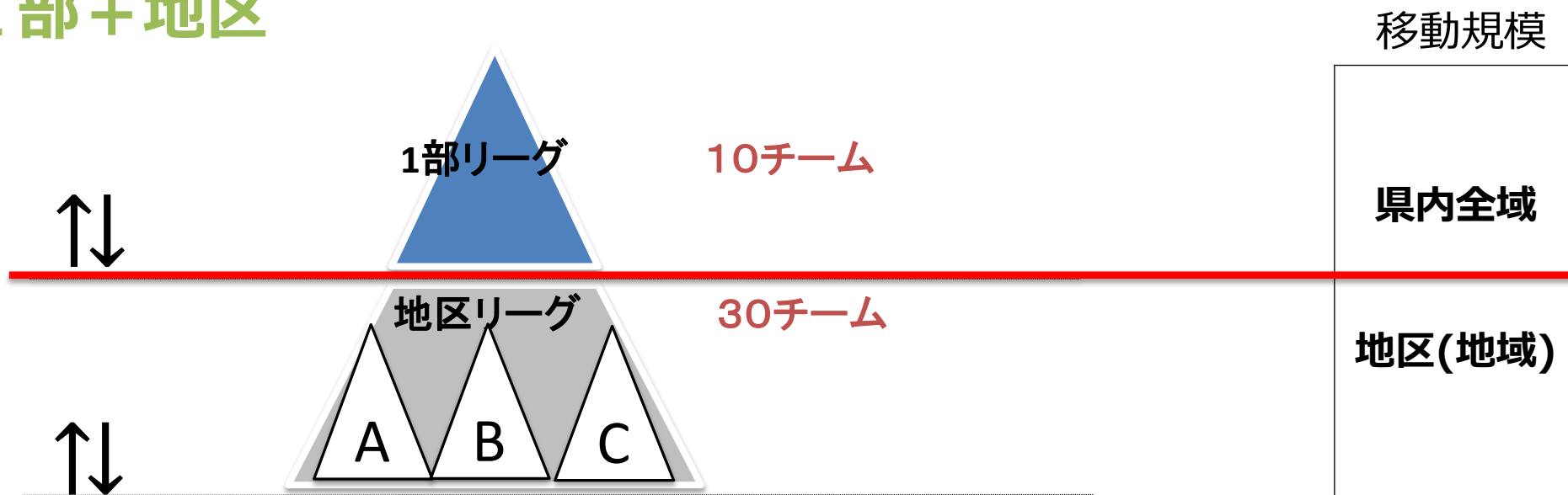


移動規模

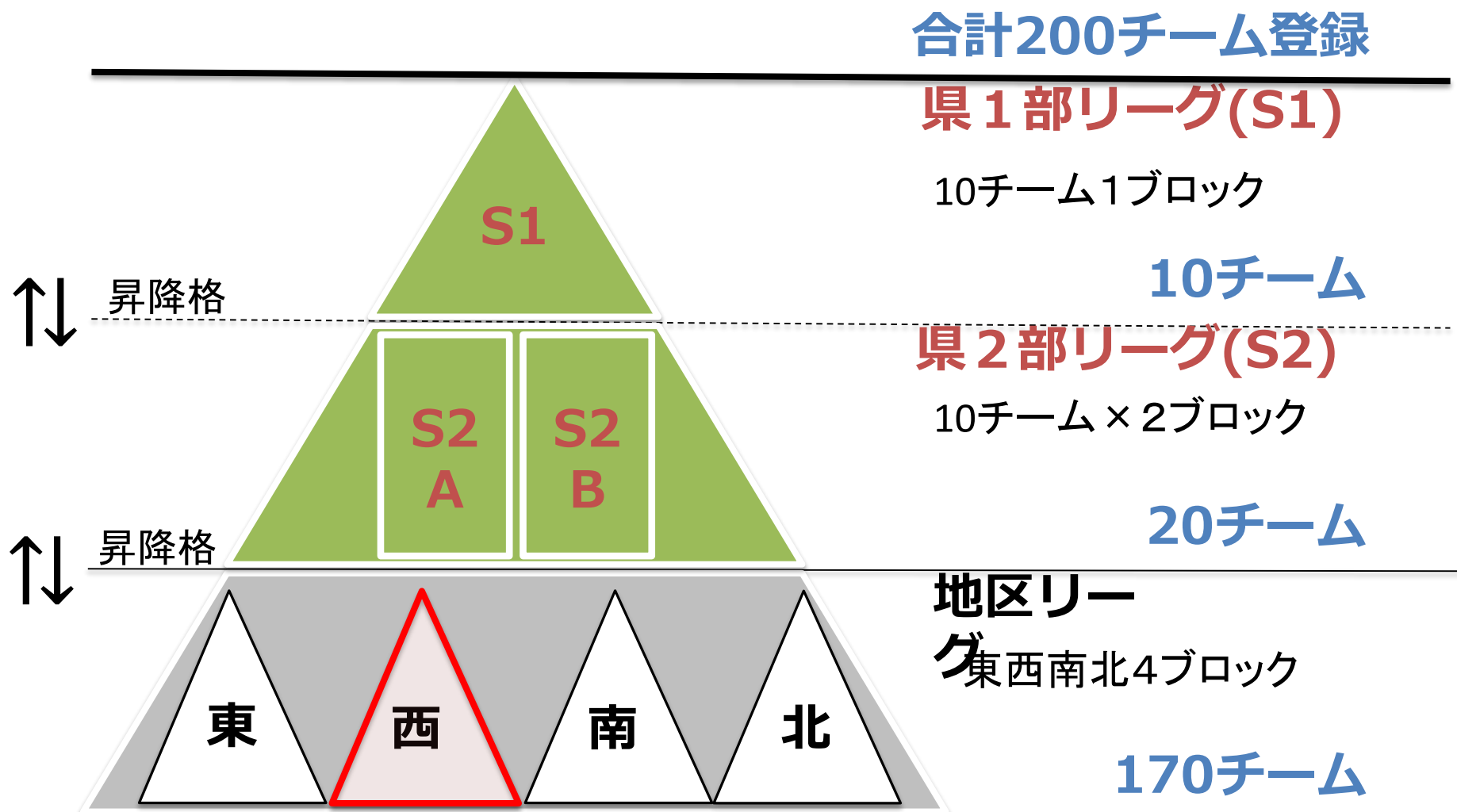
県内全域

■ リーグ構造イメージ(登録チーム数40程度かつ広域)

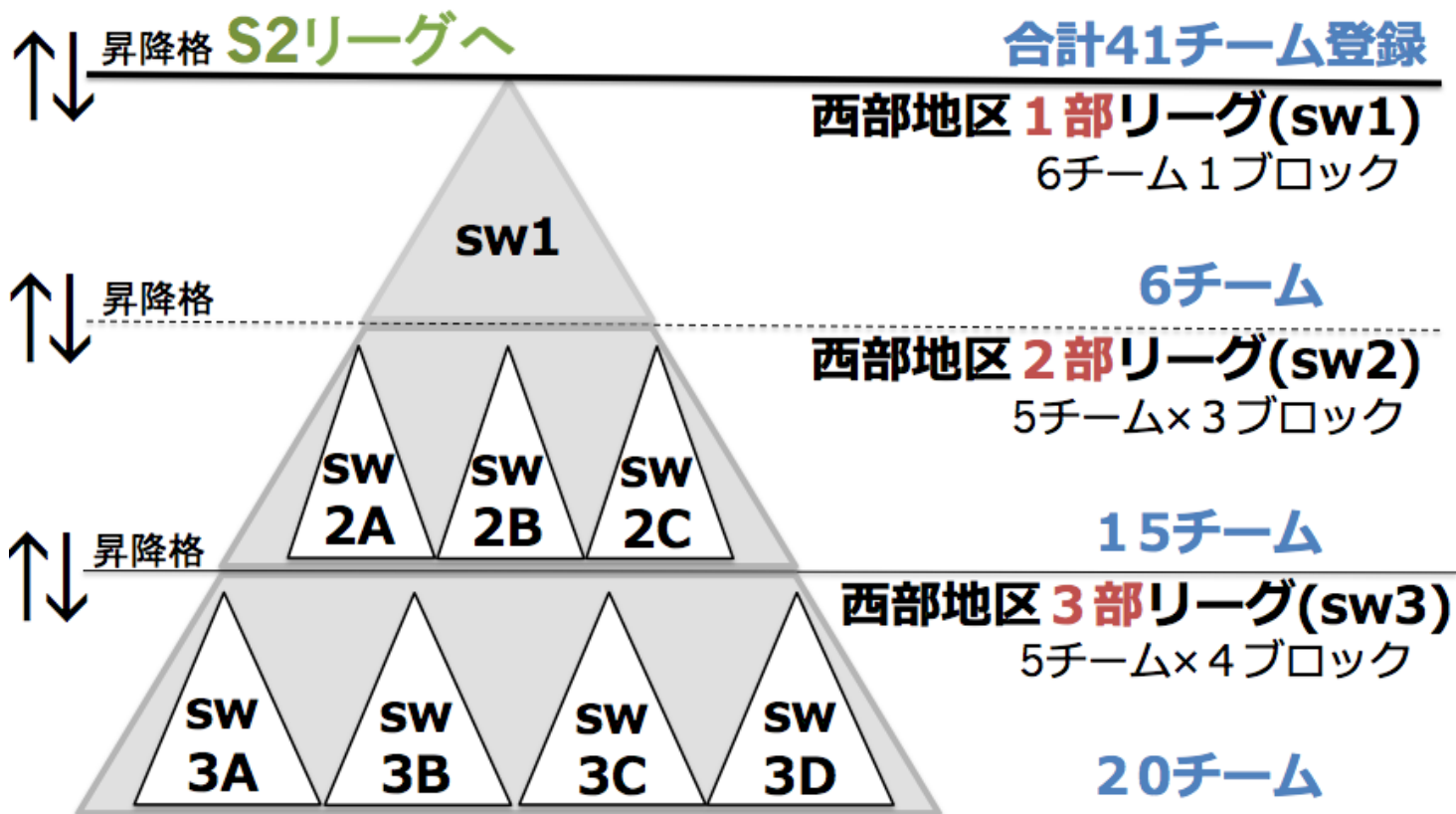
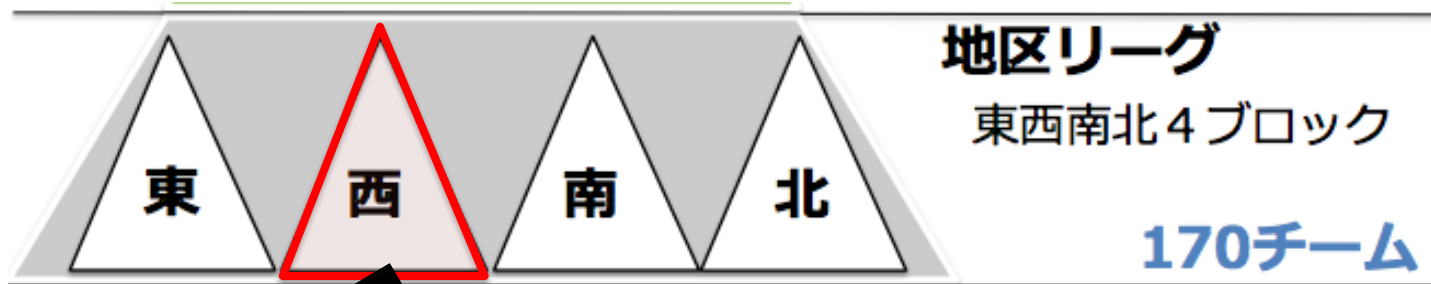
1部+地区



■ リーグ構造イメージ (S県リーグピラミッドの例)

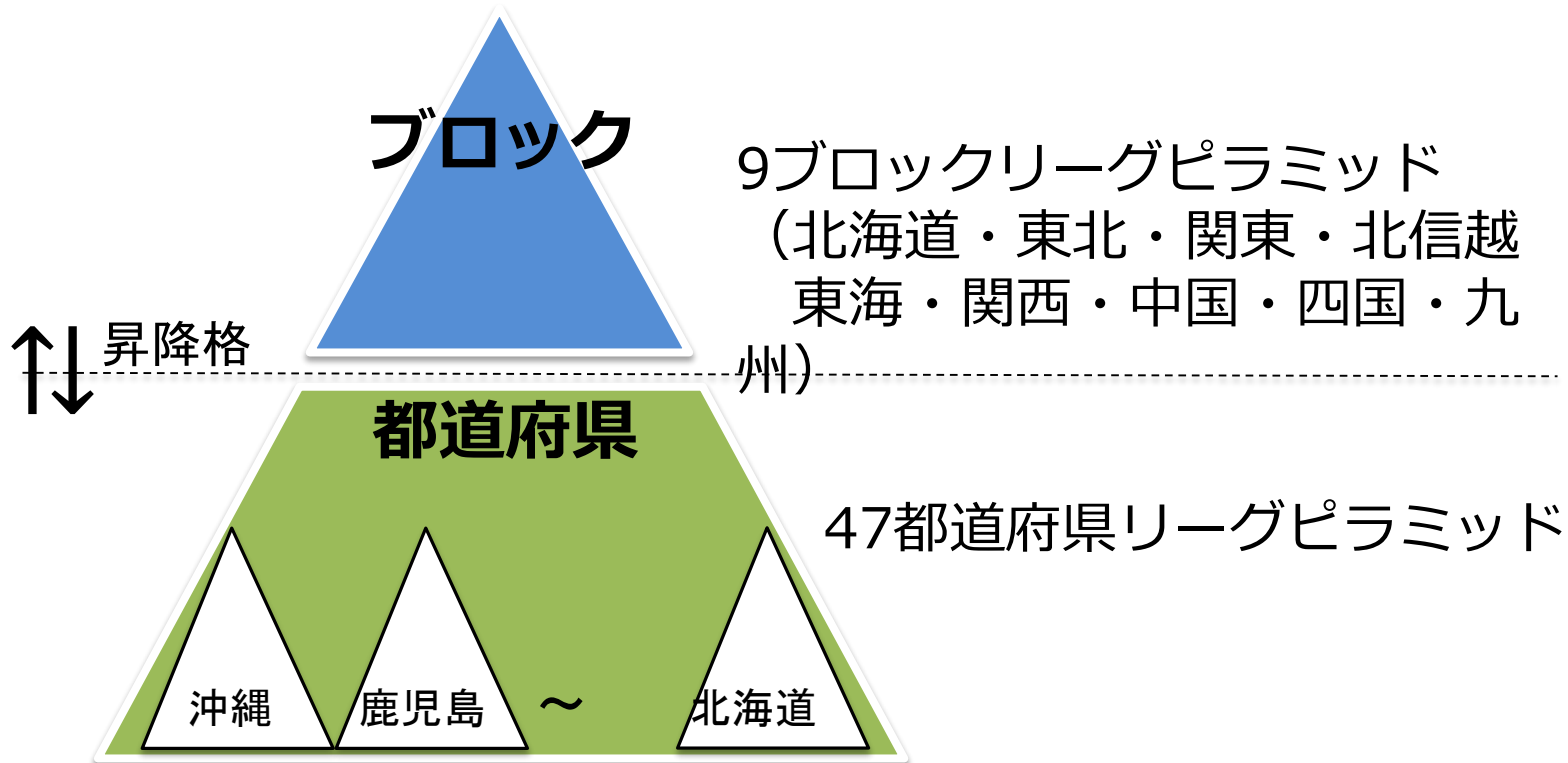


■ リーグ構造イメージ (地区リーグピラミッドの例)



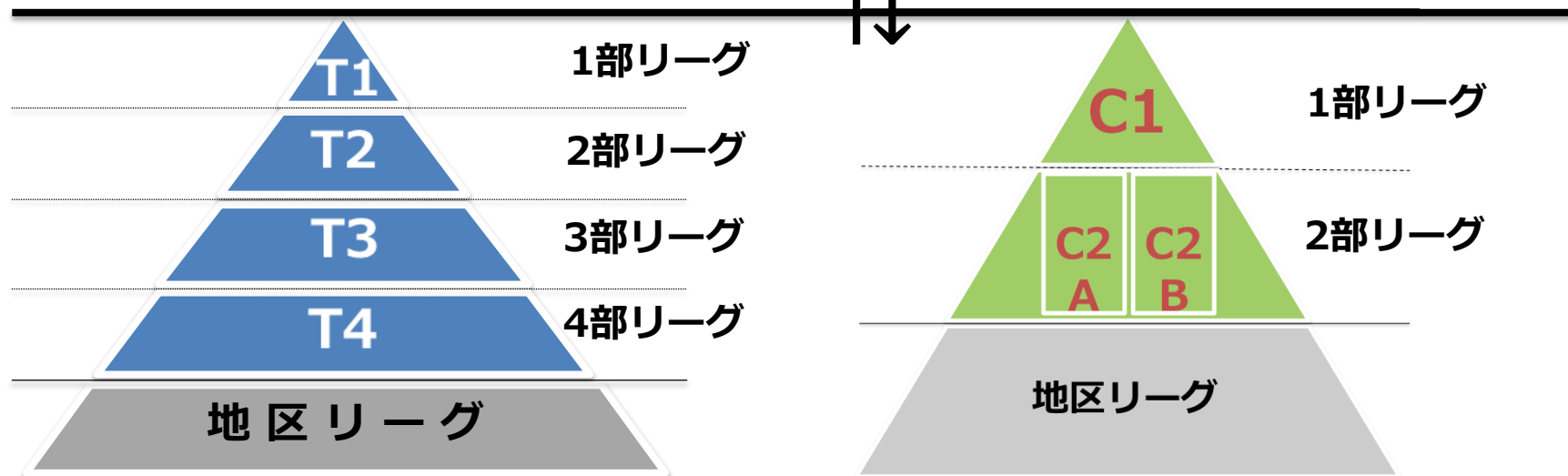
■ リーグ構造イメージ (ブロックリーグ設置案)

よりレベルの高い拮抗した試合環境のために
将来的にブロックリーグの設置を目指す



■ リーグピラミッド構造とグループ分け

関東ブロックリーグへ



T都リーグ（4部＋地区）

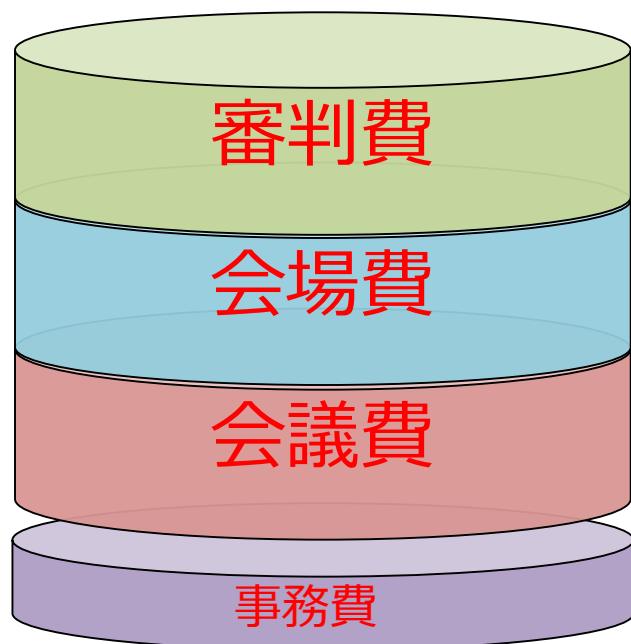
C県リーグ（2部並列＋地区）

リーグ構成が細かいいため上位リーグへの昇格に年数がかかる。その反面、同水準のチームでグループ分けができる

2部リーグが並列のため、1部昇格へのチャンスが広がる。チームのレベル格差が大きいと並列リーグが組みにくい。

■ 予算計画イメージ

リーグ運営における必要経費



該当チーム以外の運営協力としての審判費

公営体育館会場手配や学校会場提供による
事前準備や調整等としての会場費

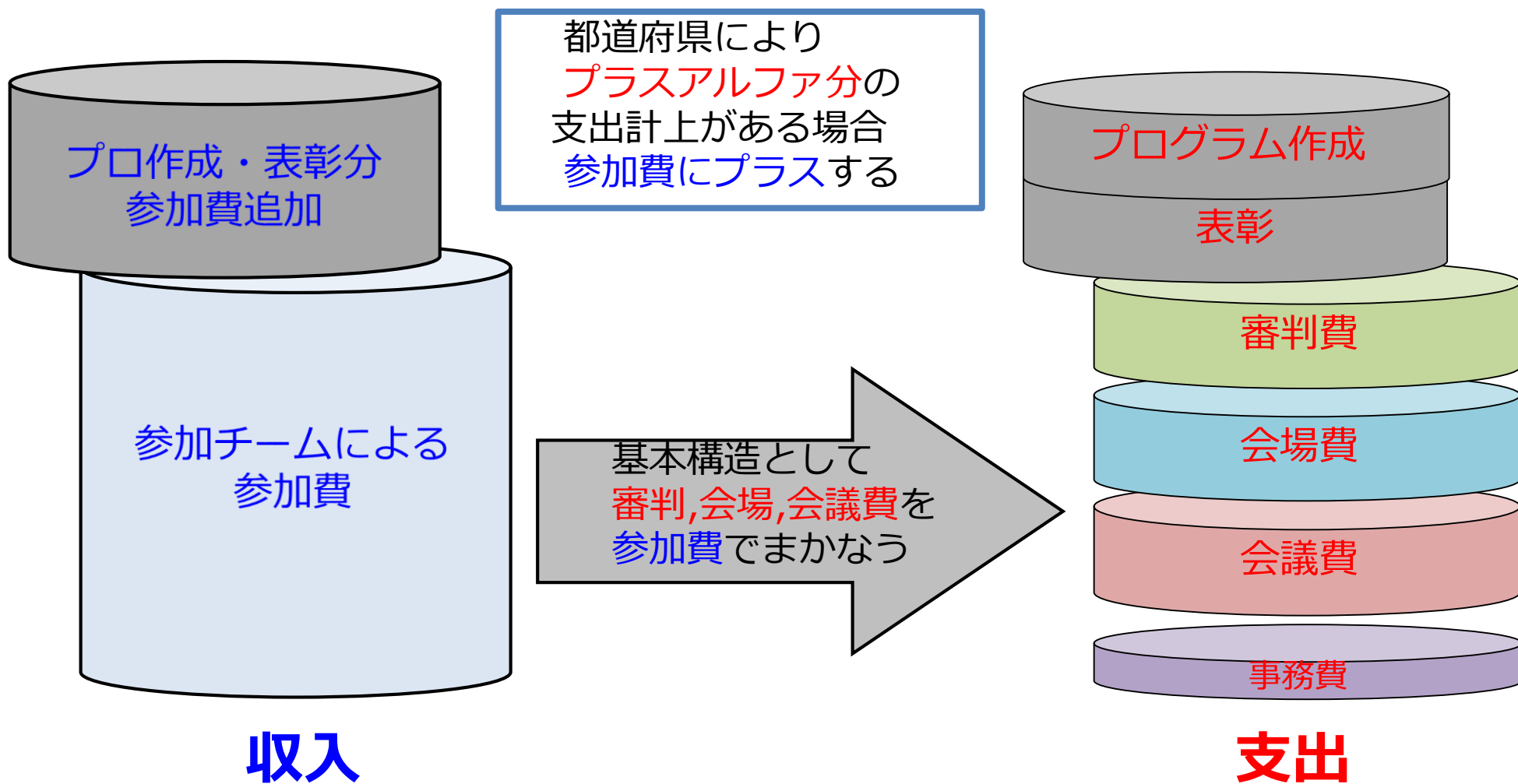
当日とは別日で実施する運営に関わる会議費

その他の諸費用

当日運営や参加チーム以外にかかる費用を支出と考える

■ 予算計画イメージ

リーグ運営における収入と支出



■ 予算計画イメージ

(参加チーム数：96チーム・12グループ・1回戦総当たり)

収入

項 目					金 額	備 考
参加費	種別	単価	チーム数	小計		県：8チーム×1リーグ、8チーム×3リーグ 地区：8チーム×2リーグ×4地区
	県リーグ					
	地区リーグ					
補助費	JBAより					
	PBAより					

合計

支出

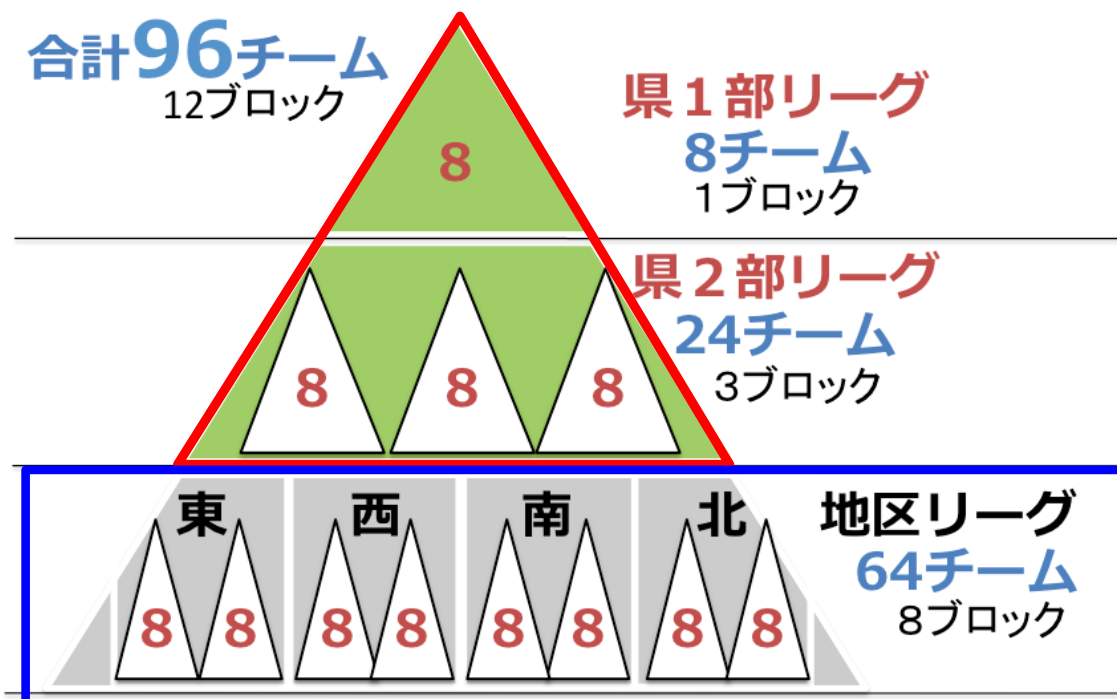
項 目					金 額	備 考
審判費	単価	個数	試合数	小計		
会場費	単価	個数	会場数	小計		
会議費	単価	個数	会議数	小計		
予備費						

合計

■ 予算計画 (収入イメージ)

項 目				金 額	備 考
種別	単価	チーム数	小計		
参加費	県リーグ	32			県：8チーム×1リーグ、8チーム×3リーグ
	地区リーグ	64			地区：8チーム×2リーグ×4地区
補助費	JBAより				
	PBAより				

合計



チーム参加費での
運営を基本とする

参加チームの交通費は
練習試合と同等と考え
受益者負担とする

■ 予算計画 (支出イメージ)

項 目					金 額	備 考
単価	個数	試合数	小計			
審判費			336			
会場費						
会議費						
予備費						

合計

総チーム数	総試合数
96	336

合計96チーム
12ブロック

県1部リーグ
8チーム
1ブロック

県2部リーグ
24チーム
3ブロック

地区リーグ
64チーム
8ブロック

リーグ		チーム	全1戦
1部	グループ1	8	28
2部	A グループ2	8	28
	B グループ3	8	28
	C グループ4	8	28
地区	東A グループ5	8	28
	東B グループ6	8	28
	西A グループ7	8	28
	西B グループ8	8	28
	南A グループ9	8	28
	南B グループ10	8	28
	北A グループ11	8	28
	北B グループ12	8	28

- 1 リーグ化の意義
- 2 既存大会とリーグの位置付け
- 3 運営と人的配置・設置手順
- 4 実施運営例
- 5 共通レギュレーション**

■ U15リーグ運営に際し以下を規定とする

- リーグ期間は、前期・後期の年間2ステージを設定する
- 選手の2つ以上のチームへの登録は不可とする（二重登録不可）
- 選手の登録チーム変更はリーグ期間中は不可とする
（前期リーグと後期リーグ間は可）
- コーチは、JBAコーチライセンスE級以上の資格保持者とする
- 審判は、JBA審判ライセンスE級以上の資格保持者が行う

■ U15リーグ運営に際し以下を推奨とする

- 複数チームエントリーの場合、2チーム目以降の登録人数を
7名以上とする
- 年間試合数を**15～20試合**以上とする
- U15チーム登録にU12選手の飛び級登録を可とする(**枠数〇名**)

■ リーグ戦運営事業としての条件

- 都道府県協会主催事業であること
- 参加選手がJBA登録をしていること
- ベンチで指揮を執る指導者はJBA公認コーチライセンスを取得していること
- 担当する審判員はJBA公認審判ライセンスを取得していること
- 原則として6チーム以上で構成されるリーグであること
- 1チームあたりの試合数が5試合以上確保されること

(D-fund申請ガイドライン対象事業条件より)

■ リーグ戦のスタートへ向けて

アンダーカテゴリー一部会協力のもと、各都道府県の実態にあわせた方法で、まずはスタートすることを目指して下さい。

スタートを切り、段階実施のなかで評価修正していくことがリーグ戦文化の醸成へとつながります。

私たちバスケットボールファミリー一人一人の力を合わせていくためのリードとご協力をお願いします。